

大野小学校でのChromebook活用について

常滑市では令和3年度より、児童のみなさん一人ひとりに**Chromebook**が整備されました。**Chromebook**が整備されたのには2つの理由があります。

1つめの理由 「情報・メディアの変化」

今やスマホなどのデジタル端末が当たり前にあるという生活になっています。それは、生活を便利にしたり、豊かにしたりするために必要不可欠なものになっています。

しかし、子どもたちは「**ゲーム等の遊び道具にしか使わない**」というイメージが強いのも事実です。

それは、学校内においてデジタル端末を子どもたちが**学習に役立terるという体験が少ない**ということが原因ではないかと言われています。

2つめの理由 「求められるスキルの変化」

Society5.0(※1)の時代をむかえるにあたり、社会の求めるスキルも今までとは違ったものに変化してきました。

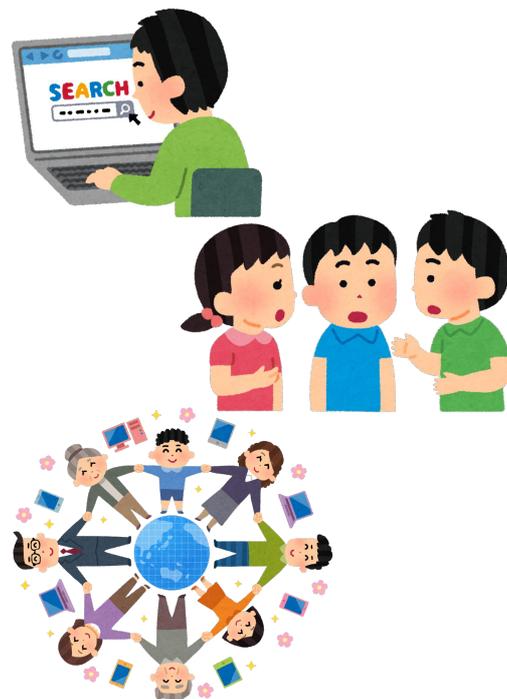
これから先の社会を生きる子どもたちのために、今のうちに必要なスキルは身に付けさせたいと考えています。そのためには、**日常的にデジタル端末を使いこなす**ことが必要不可欠だと考えます。

上記の理由から、Chromebookを一人一台整備することになりました。

1. 学校内でのChromebook活用方法

Chromebookの整備により、どんなことができるのでしょうか。

- ・いつでもどこでも使えるので、**検索機能**などを使い、主体的に調べ学習を行うことができる。
- ・課題の提示や提出、回収から返却までを**ペーパーレス**で行うことができ、その余剰時間を子ども同士の話合いの時間にあてる等、より必要なことに時間を使うことができる。
- ・文章の作成、プレゼン資料の作成・発表などを**共同編集**で行うことができる。
- ・一人一人の学習状況に応じて**個別学習**を行うことができる。



大野小学校では、授業ではもちろんのこと、**文房具の1つとして、授業以外でも日常的に端末を利用できる子どもたちを育てていく**ことを目標に取り組んでいきます。

【参考資料】

※1: Society5.0: サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会

(参考動画:<https://youtu.be/NpK08gtYihw>)

大野小学校でのChromebook活用について

2. 家庭でのChromebook活用について

学校での活用だけでなく、持ち帰りをして家庭でも活用する理由は2つあります。

1つめの理由 「学びの連続性」

例えば漢字・計算ドリルなどを学校だけでなく、**家庭でも取り組めるよう宿題にすることがあります**。それが効果的な学習につながります。同じようにChromebookも学校だけでなく、家庭でも利用することでさまざまなスキルが身に付きます。

デジタルドリルで、**個人の学習状況に応じて学習を進めたり**、学校で学習したことについて、興味のあることをさらに自分で調べて、深めたりすることができます。

2つめの理由 「テレワークの一般化」

コロナ禍の影響もありテレワークが普及し、いつでもどこでも仕事ができるようになりました。子どもたちについても、オンライン等を利用して、**いつでもどこでも学習ができること**が当たり前になってきています。休校ややむを得ず学校へ通えない状況になっても学習を止めないということが出来ます。そのためには、**テクノロジーの正しい理解(クラウドの仕組み等)が重要**であり、普段から学校外でも活用する体験が必要です。

上記の理由から、持ち帰りをして家庭でも活用する必要があると考えています。

<家庭での利用の懸念事項>

「Chromebookは学習のために使いましょう」と子どもたちには話しています。しかし、ゲームをやったり、好きな画像や動画の検索ばかりしている姿を見ると、「遊んでいるだけじゃないか」と心配になると思います。



そのような時は、子どもが何をしているのか興味をもって関わってみてください。もしかしたら、**自分で作っているプログラミングのネタを探しているのかもしれない**。

お子さんの話を聞いたり、親の意見を伝えたりして、**「やっていいこと」か「よくないこと」かを一緒に考えていくのがよい**と思います。

また、学校で作ったデジタル作品を見ることもできますので、どんなことをしたのか聞いたり、見せてもらったりしてもらうのも効果的です。

禁止ではなく、どうやったらよりよくデジタル端末を利用できるかについて考える**デジタルシテズンシップ(※2)**という考え方も参考にしてください。

Chromebookはあくまでも**ツール(道具)**です。有効に活用できるかどうかについては、周りの大人の関わり方が重要です。学校と家庭が協力して、一緒に新しい学びについて考えていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【参考資料】

(※2)デジタルシテズンシップ:情報技術の利用における適切で責任ある行動規範

(参考サイト:https://www.pref.shimane.lg.jp/life/syoku/shohi/kurasi_info/gaikokuzin/gaikokuzin.html)